コーヒーブレイク〈子育ち・親育ちのお伴に〉

水戸幼稚園　2020年　10月号

キンモクセイの香りが園庭にそよそよと流れてくると、秋の深まりを感じます。先月のつくしっこくらぶでは、お庭で遊ぶ時間を多く持ちました。砂場では、ホースから流れる水の冷たさや砂が変化していく様子を手や足で感じながらじっと見つめる姿。ジョウロから勢いよく飛び出していく水ににっこりする姿等などそれぞれの『好き』を見つけて楽しむ様子が見られました。開放感と心地よさ、そして安心感を得て遊べる一時のありがたさを感じた9月でした。今月は、幼稚園や保育者にも小さな安心を得て、季節の変化を感じながら、その時、その瞬間に見つけたやってみたい！をゆったりと親子で楽しんでみましょう。

子どもの世界

今回は、つくしっこくらぶの帰り道でもよく起きる出来事について考えてみましょう。
「まだ遊ぶ！」といってなかなか帰らない時、困ったなぁ…なんて場面ありませんか？

「あと１回だよ～。」と言っても永遠のように繰り返される滑り台。
「さっき約束したよね…」と大人の気持ちはざわざわ。
待ってみたものの、やっぱり最後は大泣きで、大人も泣きたい…
では、この時の子どもの世界はどうなっているのでしょうか？

＊この時の子どもの世界は…＊

☆目の前の遊びに夢中になっていて他の声が聞こえないくらい集中している。

☆夢中になっている所を止められて子どもも悔しさと苛立ちがある。

☆ご飯の準備や予定など、お母さんの予定を知らない状況。
（まだ忖度はできない。忖度したら逆に問題と考えよう！）

これを大人の世界で例えると…
楽しみにしていたドラマの残り１０分のタイミングで「ご飯作って」と迫られる気持ちと一緒なんです。

つまり、遊んでいる子どもにいきなり「帰ろう！」と言っても聞いてもらいにくい。そんな時は、少し前から声をかけておくことが大切になります。大人は時間の余裕を持って、例えば３０分前に「そろそろ帰るよ」と声をかけます。お子さんは「まだ！」と言うかもしれません。「じゃあ、あと１５分ね」と伝えておく。そして帰る１５分前に「帰るよ。」と言ってみる。ここで帰る子もいれば「やだ！」という場合も。そこで「わかったよ、じゃああと１５分。これが最後だよ。約束できるかな？」と『最後』『約束』を付け加えましょう。一方的に伝えるよりも、２回譲ってもらえたという気持ちがあると子どもも大人の意見を受け入れやすくなります。ただ、自制心が育ってくる４歳頃になるまでは、まだまだ難しいということも、大人は理解してあげましょう。「出来るようになるのを待ってるよ～」と考えて、１歩ずつですね！

今月のつくしっこのおやつ【もぐもぐさつまポテト】　〔 4人分 〕

材料　：　さつまいも　揚げ油　塩　　適宜

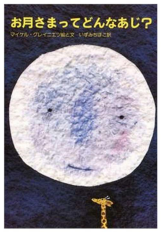
①さつまいもはひょうしぎりにする。
②170℃～180℃の油で素揚げする。
③適量の塩をまぶす。

※素朴だけれど幼稚園生も大好きです！
さつまいもの味を噛みしめられる、おやつにもおかずにもなる一品です♪

おすすめの絵本

何だか最近急いでる？そんな時に読んでほしい１冊です♪

『おつきさまってどんあじ？』　（セーラー出版）マイケル・グレイニエツ絵・文　いずみちほこ訳



春よりも星がよく見える秋。見上げた夜空に浮かぶお月さま。もし、月に味があったらどんな味がするのでしょうか。プリンのような味？それともメロン味？お月さまの味が気になってならないのは、動物たちも同じ。ある日、小さなカメが決心して一番高い山に登ります。カメの歩みなのできっと山登りは大変…。それでも山のてっぺんに到着。お月さまに向かって色々な動物たちが手を伸ばすけれど届かない。最後に呼ばれたネズミが「パリッ！」。お月さまの縁を囓ると…さて、どんな味？

（文責　坂入）